

# 県政レポート

〈発行〉  
北浜みどり事務所  
平成25年9月  
第3号

# From 北浜みどり

フロム

県議会議員

〒657-0832 神戸市灘区岸地通2-4-13 ☎ (078) 801-7102 FAX (078) 801-7789

## 障害者向けグループホーム 県営住宅への確保を実現！

さわやかな新涼が心地よい季節を迎え、秋の七草も咲きそろいつつあるようです。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

このたび、第1回「北浜みどり県政報告会」を神戸市内で開催し、平日にも関わらず400人近い方々にお集まり頂きましたこと、心からの感謝とお礼を申し上げます。

県議員になった初年度は警察常任委員会の委員と

なって警察官の日々の活動にふれ、次年度は健康福祉常任委員会に所属。私の専門分野であり、社会福祉士として福祉の現場を知っている立場から、県の政策にしっかりと意見、提言をすることができました。

その成果の一つが、「障害者向けグループホームを県営住宅の各ブロックに最低1カ所は確保する」という県との約束を取りつけたことです。

私が議員になって何度も県当局と議論してきた案件で、昨年の県議会で重ねて訴えたところ、ついに知事ら県当局から「依頼があれば各地区で最低1カ所は（県営住宅の部屋を）融通する」との回答を得ることができました。次はこの成果をしっかりと実現させていかねばなりません。

一方、健康福祉常任委員会では、県議会の同常任委

員12人と神戸市民との意見交換会を開催致しました。

素晴らしい活動を展開している地域グループのメンバーを招き、障害をかかえる児童への対策をテーマに、現状と必要な支援について意見を述べてもらいました。委員たちは母親たちの切実な訴えに真剣に耳を傾け、



今求められている支援策は何かを感じ入ったと感想をもらっていました。

## 風疹のワクチン接種で補助取り付け

また、地元医師会の要望を受け、全国的な広がりを見せた風疹への緊急対策を県に取り付けました。免疫のない女性が妊娠初期に罹患すると出生児が障害を起こす恐れがある一方、ワクチン接種の費用は若い世代に重い負担でもあります。接種の徹底は若い母親たちの負担軽減が必要と考え、

自民党県議団として「風疹ワクチンの接種助成金」を創設するよう井戸知事に提案。翌日には県の独自政策として補助金を捻出することが決まり、当日の朝刊で報道された際には、必死の行動が確実に成果を残したことを実感しました。議員バッチをつけた1期生ですが、地域のため、県民のた

めに無我夢中で走り回れば必ず結果がついてくると身をもって理解し、さらなる挑戦への大きな自信となりました。

まだまだ未熟ではありますが、今後もさらに努力精進していく所存です。より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



障害のある方々が集まって専門員の援助を受けながら生活するグループホーム。集団生活型介護とも呼ばれています

## 障害者の雇用拡大へ全力注ぎます

### 今年度は産業労働常任委に所属

今年度は、県議会の産業労働常任委員会委員に就任しました。「障害者の雇用・就業機会の拡大」を主要テーマに全力を注いで

います。

県内の障害者実雇用率は、昨年6月現在で1.79%と前年比で増加しました。

しかし、今年度から民間企業（56人以上）の法定雇

用率（障害者を常勤雇用する割合）が1.8%から2.0%に改定されたほか、一人も雇用していない企業は60%以上にのぼっているのが現状です。

障害者の雇用・就業状況は従来から厳しい環境にあり、依然として意欲のある

多くの方々が働く場を求めているのが現状です。これまでも個人や団体から切実な要望を受けており、法定雇用率の達成はもちろん、一人でも多くの障害のある方々が自立していけるよ

う、監督責任のある県の役割は重大です。企業の雇用努力を促す指導や積極的な施策の強化を継続的に求めています。



ダウン症の方のみで構成されるミュージックベル奏者「コスモス」(神戸市垂水区)のメンバーとともに

と、子育て環境の充実をテーマにした政治理念をはじめ、議員としての足跡や議会の動きを伝えるトピックス、取り組み成果などを

掲載した県政報告が閲覧できます。

左記アドレスにアクセス、または「北浜みどり」で検索を！

ホームページを開設



北浜みどりの議員活動をPRする、公式Webサイト「みなさまに・健やかに」を開設しました。日々の出来事や主な議会活動を取り上げております。

高齢者が安心して健やかに生活できる社会

<http://midori-kitahama.net>

平成25年 北浜みどりの主な活動

- 平成25年
  - 1/6 神戸市消防出初式に参加
  - 1/17 阪神・淡路大震災ひょうご安全のつどいに出席
  - 1/19 地震対策の市民フォーラムに出席
  - 1/21 兵庫県立大学が開講。1歳前後の赤ちゃんとその母親が先生となる赤ちゃん先生クラスを視察
  - 1/28 灘区警察署の術科始め式に出席
  - 2/3 社会福祉法人木の芽会の10周年記念式典に出席
  - 2/7 但馬地域で開かれた精神保健研究会の交流会に参加
  - 2/8~3/25 県議会本会議
  - 2/14 自民党農政環境部会で管外視察
  - 2/19 地方分権推進PTで研修会
  - 2/20 児童虐待防止PTで研修会。島田妙子氏の講演を傾聴。司会を務めました
  - 2/21 自民党警察部会で管内調査
  - 3/3 防災区民のつどいに出席
  - 3/5~19 議会予算特別委員会
  - 3/25 社会福祉審議会に出席
  - 3/26 知的障害者施設の光輝会を視察
  - 3/30 摩耶ケーブル開通式典に出席
  - 4~5月 県政報告会の勧誘活動。お母さん方との懇談会
  - 5/5 ホーム塩谷コスモスコンサートに出席
  - 5/12 少林寺拳法連盟大会に出席
  - 5/23 第1回県政報告会を開催
  - 5/25 県栄誉士会30周年記念大会に出席
  - 6/4~12 県議会本会議
  - 6/6 精神知的障害者の養護施設を視察
  - 6/9 知的障害者のフェスティバル「丹波の森ふれあいステージ」に出席
  - 6/18 MOA体験に参加
  - 6/21 チャイルド・ケアハウス施設を視察

# 初の県政報告会を開催

兵庫県議会議員となつて初めて実施する第1回「北浜みどり県政報告会」を5月23日、神戸市内のホールで開催し、約400人のほろ多くの支持者にご参加いただきました。また、後援会組織も発足し、今後のさらなる躍進に期待を寄せた多くのエールをいただきました。

報告会では、福祉、子育てに全力投球！



ご多忙中、激励に駆けつけていただいた自民党県議団の小田毅幹事長(左から2人目)、吉田神戸市議会副議長(右から2人目)ら来賓と

## 支持者ら400人参加、後援会が発足 風疹対策など実績を紹介



県政報告会で活動成果を伝える北浜議員

あいつつで私は政治家を志したきっかけや、福祉現場や女性の声を行政に届けようと全力で取り組み、風疹ワクチンの接種補助など実現できた施策を紹介。地域振興や児童虐待防止の県条例化など、今後の目標を説明し支援を求めました。

また、来賓あいさつでは、事代理の山本会計管理者を始め、県議会議長、県議団幹事長、鴻池参院議員、盛山衆院議員、神戸市議会副議長から激励を受けました。

のスローガンでまい進してきた2年間の活動を振り返り、その成果など報告しました。

## 児童虐待防止チームを発足 政策立案へ

### 調査結果踏まえて報告書を作成

自民党県議団は、「未来への責任を果たす政策づくり」を基本姿勢に政務調査活動に取り組んでおり、平成24年度は教育再生や地方分権など2つのプロジェクトチームと3つの自主研究チームを発足させ、課題の詳細な

検証を行ってきました。

その中で、私は児童虐待防止チームに所属し、世話役も担当。児童虐待の現状や県の対策を把握した上で、相談・対応機関である子ども家庭センターや児童養護施設など3施設を視察して意見交換を展開し、必要な対策など問題を浮き彫

りにさせました。

この調査から、「児童虐待件数が急激に増加している」「虐待する母親は若年妊娠や若年結婚が多い」「虐待をする親はしつげとの区別がつかない」「虐待防止の基本的な対策は母子援助」などの課題が得られ、これらを報告



書としてまとめたほか、今年度も引き続き活動を展開して政策提言につなげていきます。

予算特別委

## 児童虐待根絶へ「学校現場で命の教育徹底を」

### 看護師会など外部講師の活用提案

平成25年度の財政状況を審議する県予算特別委員会が、2月28日から3月19日にかけて県議会で開催され、予算特別委員会委員として計6日間にわたって県当局に質疑しました。



今回は、「県財政を圧迫している県債という借金残高4兆6680億円への対応」「うつ病など県職員の健康管理対策」「障害者就労への支援」「高齢者の就農支援」などをテーマとしました。

さらに教育委員会関連では、「児童虐待を根絶するため、学校で発達段階に応じて命の大切さを

学ぶ機会を増やすことが不可欠」と前置き、「業務過多が指摘されている先生方に代わり、看護師会など外部の講師を活用し、全ての子どもたちが命の教育を受けられるよう実施を」と提案しました。

また、広島県・市の一貫した平和教育、会津藩で幼少から教え込まれる「什の掟」7カ条を紹介。「幼い

### 県債の対応、高齢者の就農支援などを質しました



頃から何度も教えられたものは自然と身につく。学校現場で命の大切さを教える教育を徹底させてほしい」と注文しました。

## 井戸知事が史上最多で4選果たす

元気がよさげな井戸知事と固い連携を誓い合っています

井戸氏は炎暑の中で約3500キロを走破し、県内各地で街頭活動を展開。私も各地で応援演説を行い、超高齢社会などを視野に入れた元気なひょうごをめざす井戸氏と固く連携して県政を推進していることを伝え、力強い支援を求めました。

兵庫知事選挙が7月21日、投票日。現職の井戸敏三氏が史上最多の得票となる168万票を獲得して4選を果たしました。また、参院選兵庫区では、応援していた自民党の鴻池祥肇氏が4選を決めました。

## 北浜議員と固い連携



神戸製鋼の発電所を視察